



# 天沼中だより

令和3年5月20日 杉並区立天沼中学校

## ご挨拶（遅ればせながら） 校長 松尾 了

昨年度まで、天沼中学校長として本校の教育活動にご尽力いただきました水野英利校長の後任として、本年4月に着任いたしました松尾了（まつお りょう）と申します。昨年度までは、小中一貫校八王子市立みなみ野小中学校で中学校副校長をしておりました。天沼中学校は保護者や地域の皆様との連携が進んでおり、生徒たちもボランティアシップにあふれている学校との話を以前から伺っておりました。着任からおよそ1ヶ月半が過ぎまして、明るく素直な生徒とのふれあい、保護者と地域の皆様に温かいご支援をいただき嬉しく思っております。遅ればせながらのご挨拶となり失礼かとは存じますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 凡事徹底

5月10日（月）の全校朝会で生徒たちに「凡事徹底」の話をしました。具体的には、「当たり前の事は当たり前にやる」という意味であること。「当たり前で平凡な事でも、それを徹底して継続することによって、優れた成果が得られる」という意味もあること。凡事徹底をしていくと、なぜ、優れた成果が得られるようになるのか。自分自身の行動が変わることで、習慣が変わり、人格が変わる。そうすると、周囲の人との関わりが変わり、運命が変わること。当たり前の何気ないことでも、意識して続けることで、しっかりとした人としての力が身につくこと。「当たり前のこと」は、たくさんあるので、何をすればよいのか迷ってしまう人は「あいさつする・学習する・運動する・清掃する・正装する」天中の学校生活5原則を意識するとよいこと。などの話をしました。

学校朝会が終わり、生徒が体育館から教室へ戻っていく姿を見ながら、ふと思ったことがあります。昨年の今頃は「当たり前」のことができていない時期であったな…と、いう思いです。

ちょうど昨年のこの時期、緊急事態宣言中で学校は休業中でした。それまで「当たり前」であった学校での活動ができなかった時期です。しかし、今年は同じ緊急事態宣言中であっても、制限や対策を行いながら学校での活動を行うことができています。私見ではありますか、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策について気を付けなくてはならないことが少しずつ分かってきたこと、学校という活動の場所が子どもにと

って大切な場であったことが再認識されたことが、大きな理由であると思っています。

子どもたちが成長し、社会で活躍する頃には、社会情勢から推し進められつつある様々なデジタル化によって、オンラインを活用したリモート動画やデジタル情報を媒体とするコミュニケーションスキル（デジタル上の情報を相手にどのように上手に伝え、受けとめるか）が大切になってくることが想像できます。ですが、表情、仕草、態度、声色など、人同士が直接対面してこそ得られる感覚に基づいたコミュニケーション能力が育っていないければ、デジタル情報によるコミュニケーションスキルを身に付けることは難しいのではないか？人同士の直接コミュニケーションでの経験から得られた感性が基盤となって「相手にどのように伝わるのか、伝えるのか」を考える力が育つのではないか？

これらのこととは、学校という活動の場所が子どもにとって大切な場である理由の1つではないかと思うのです。

今月から、1年生のフレンドシップスクール、運動会など、人同士が直接関わる活動が本格的に始まります。新型コロナウイルス感染症対策を凡事徹底しながら、子どもたちの体験的な学びを進めてまいります。コロナ禍の中、保護者の皆様にはご心配、ご負担をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜れますと幸いです。

# 離任式

4月23日(金)



2年ぶりに離任式を行いました。  
水野英利校長先生、関誠先生、加藤裕保先生、  
中村良美先生がご来校くださいました。

2、3年生は体育館で直接お会いし、1年生は  
教室でリモート参加をしました。2年前のよう  
な歌や演奏はありませんが、心温まる式となり  
ました。



代表生徒



花束制作

校内ボランティア部の皆さん



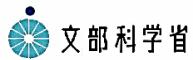
## AKA 小中合同研修会 5/10 (天沼小・沓掛小・天沼中)

天沼中、沓掛小、天沼小の3校合同で小中一貫教育研究を始めて9年目になります。昨年度は一度も研究会を行うことができませんでした。また、児童生徒どうしの交流事業も、企画、準備は進めたのですが、実現に至らず、中学校から「学校生活」「運動会」「入学式」「部活動紹介」などの動画を作成して送り、小学校で見ていただくこととなりました。

今年度は、「できることを見付けて実施」していこうと、早速第一回合同研修会をオンラインで行いました。教科分科会（右写真）のあと、協働分科会として、「交流」「生活指導・特別支援」「道徳」「ICT」の担当に分かれ、情報交換を行いました。顔を合わせる機会が1年間なかったため、ようやくお互い顔見知りになり、共に「できること」を進めていく話し合がきました。



# いのちの教育月間5・6月



保護者や学校関係者等のみなさまへ

先般、文部科学大臣から右の文書が送付されました。また、杉並区では5月・6月をいのちの教育月間とし、本校でも「いのちの教育」を年間とおして推進しています。

全学年で「生命尊重」「思いやり・親切」等、趣旨に合う道徳資料を選定し、命を大切にする心を育む道徳の授業を実施、その内容については学年だより等でお知らせしておりますので、ぜひご覧いただき、ご家庭でもお話ししください。

高齢の方や赤ちゃん、障がいのある方々とのふれあい活動についても、今後の新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、できることを模索してまいります。

コロナ禍において児童生徒等の自殺者数が大きく増加していること、また、長期休業明けに児童生徒等の自殺者数が増加する傾向にあり、不安や悩みを抱える子どもたちが増ええることも考えられます。保護者や学校関係者、地域のみなさまにおかれましては、子どもたちと向き合い、話しを聞く・話し合いをする時間を積極的に取っていただきようお願いいたします。

「誰も自殺に追い込まれることのない社会」を実現するためには、国民一人ひとりが身近な人の様子を気遣い、支えていくことが不可欠です。文部科学省としても、児童生徒等の命を守り通せるよう、引き続き、自殺予防の取組に全力を尽くします。

令和三年五月  
文部科学大臣 萩生田 光一

## 評価・評定説明会／部活動保護者会

130名余りの保護者の方においでいただきました。今年度から中学校でスタートする新学習指導要領に基づく各教科3観点による教科教育と評価についてなどを大塚雄史進路指導主任から説明いたしました。日々の授業と評価は一体です。「知識・技能」が注目されがちですが、「思考力・判断力・表現力」や「主体的に学習に取り組む態度」の2観点を合わせて偏重のない評価を日々重ねつつ、学期ごとの評定につなげていけるよう、教員一同、研修を進めます。

部活動保護者会でも、全体会で関戸良則部活動担当からの説明のあと、それぞれの部に分かれました。各部とも積極的に保護者の会の組織を作っていました。感謝申し上げます。



## フレンドシップスクール 森と湖の楽園 5/19

1年生は初めての校外学習として、以前は宿泊行事だったフレンドシップスクールを日帰りで実施しました。行先は区の斡旋により、山梨県の富士河口湖町にある、「清水国明の森と湖の楽園」です。野外調理ができる予定でしたが、残念ながら、お弁当持参に変更になりました。ご用意ありがとうございました。予想外の早い梅雨模様の中、大自然の空気を満喫しつつ、コミュニケーションゲームなどに取り組み、友達づくりをしました。



消毒、健康チェックののち、バスに乗り込みました。予定どおり出発できました。開校式を終えて、ソーシャルスキル講座が始まりました。



『アイスブレイクゲーム』として、現地では指導員の方が二人で楽しいゲーム、「ヤドカリゲーム」「進化ジャンケン」などを指導してくださいました。「仲良くなる方法」を習得。これからに役立ちますね。そして、「黙ってお弁当」タイム。目の表情や手振りでのコミュニケーションも上手になってきました。午後、屋外での『宝探しゲーム』に出発、途中で雨が強まったので早めに終了しましたが、いい体験ができました。

# 令和3年度 運動会 練習と準備が始まりました



曇り空から時折霧雨が落ちて来る中、5月17日から運動会の学年練習が始まりました。

昨年度の10月に実施した「withコロナ運動会」を土台に、今年度も生徒の実行委員会が主体性をもって企画運営しています。17日の生徒朝会では、実行委員長からスローガンの紹介がありました。

令和3年度

運動会スローガン

**勇 猛 果 敢**  
～翔び立て 頂さを目指して～

## ＜保護者の皆様へ＞

今年度の運動会は、昨年度秋の開催要項を元にしております。PTAの皆様に支えていただいている姿を生徒の皆さんにも見せたいところではあります。感染拡大防止のため今年度も受付や警備等のPTAの係活動はお願いしておりません。昨年度は保護者の方お一人お一人のご理解ご協力により、円滑に競技を進めることができました。今年度もご協力ををお願いいたします。注意事項ばかり多くて申し訳ありません。

- 来賓へのご案内はしておりません。また、敬老席、保護者席（イス）のご用意ができませんのでご了承ください。
- ご家族は生徒一人につきお一人までのご参観とします。先日配布しましたプログラム（緑色）にはさんであつた「入場カード（黄色）」にご記入のうえ、当日必ずご持参ください。原則、再発行はしません。
- 途中退場して再入場を希望される方は当日退場の際に受付にお申し出ください。
- 午後の閉会式（13：15～予定）もご参観を希望される方は、一度ご帰宅いただき、再入場をお願いいたします。（昼食用に体育館の開放はいたしません）
- 自転車でのご来校はお断りしています。
- マスクの着用、手洗い、手指の消毒をお願いいたします。体調がすぐれない場合はご来場をご遠慮ください。保護者の方も水筒をお持ちください。今年度もゴミ箱の設置はいたしませんので、ゴミはお持ち帰りください。
- 撮影は、通信端末でない機器をお使いいただくようお願いいたします。また、他のお子さんが写り込んだ画像の扱いにはご注意願います。
- 大声での声援はご遠慮ください。



今年3月4日、天中で講演していただいた、レスリング（フリースタイル）の高谷悠亮選手に、全校生徒からのお礼の手紙を送りました。しっかり受け取ってくださいました。そして、東京オリンピック出場権獲得（3大会連続出場）おめでとうございます！

“アスリートはアスリートの信念をもって戦っている。”…

高谷選手の言葉です。「オリンピックが開催されてもされなくとも、ここまで高谷選手の努力とその結果に敬意を表し、エールを送ります。天沼中学校」というメッセージを、天中でのご講演実現に尽力してくださった沼田様宛に送らせていただきました。沼田様から、「世界最終予選で優勝してオリンピック出場権を獲得しました。天沼中からのメッセージは高谷選手にもお伝えさせていただきます。いつもは勝つと派手なパフォーマンスをする高谷選手が、今回は試合が終わった瞬間、両手で顔を覆いしばらく動けずにいました。精神的に追い詰められた中でオリンピック出場が決まり感極ましたのだと思います。その姿に胸が熱くなってしましました。オリンピックが開催されるかされないかは別として、努力をして結果を出した高谷選手は立派だと思います。本当に良かったです。引き続き、天沼中の応援パワーを力にして高谷選手には頑張ってほしいと思います。」とお返事をいただきました。・・・これからも静かに応援していきたいですね。